

# 報新國教

定 価 1部 140円(本体 133円+共 200円)  
 予約購読料 1年分 共 5,000円  
 紙代のみ 3,500円  
 振替 00140-9-9-145275

本紙を購読ご希望の方は、前金を  
 えて、お近くのキリスト教書店  
 へお申し込み下さい。  
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 **日本基督教団**  
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546  
FAX03(3207)3918  
E-mail:shimpoh-c@uccj.org

発行人 竹 前 昇  
編集主筆 竹 澤 知 代  
印刷所 株式会社きかんし



開会礼拝

# 新任教師オリエンテーション

教師である重さを実感する

## 参加者の関心は説教に集中

二〇〇六年度新任教師オリエンテーションが、六月二日から二八日まで静岡県伊豆市にある天城山荘を会場に開催された。主題は今年度も「教団の教師として宣教を共に担う」。参加した新任教師は七一名(昨年度未参加者九名を含む)、教育委員会から委託を受けているキリスト教教育主事の参加は三名、関係者を含めると計九七名が参加した。無我夢中で駆け抜けた新任教師が自らの三ヶ月の歩みを振り返り、教師であることの重さを実感する三日間となった。

番町教会牧師として。  
このような発題と講演で  
構成されているのは、教団  
全体を参加者に理解して  
もらいたいとの願いとそれぞ  
れの任地で早速大きな課題  
となる説教と牧会に対して  
希望を見失わないで取り組  
んでほしいという配慮を形  
にしたものである。

また、特別講師として「牧  
会の課題」と題して講演し  
てくださった佐藤氏から

# 教師としての自覚の時

山北議長は、発題「合同教会としての教団」を通じて合同教会の本質は、「第一部として紹介した。

としして「なる教会」にあるとし、「イエスは主なり」という点に一致点があつて、そこから生まれる多様性という流れが合同教会の本来の姿であることを指し示す一方、福音理解の混乱により、教団をとらえる「本像」として「聖書が深く読めること」、「教会形成に結びつく人間関係を作ること」、「教会に仕える業に難用はない」という三点を語つて参加者の大きな共感を得た。

質」「職制」「體質」「伝道論」の四点において相対化による崩壊が起つてゐるのではないかと問題提起しながら教団の歴史を振り返つた。

竹前総幹事は「教団教師の二つの働き」と題して発題し、人間関係の基本的な信頼を失わないために事務最終責任者としての教師という側面を疎かにしないで

小林副議長の「教団の教師像」の発題では、教団における教師問題について、自ら一九七〇年に教師として立てられ、教師試験が開催されない中で「信徒伝道者」として出発した歩みを紹介しながら教師問題の歴史について訴えた。

東岡氏は部落解放センタ運営委員長として部落差別への取り組みを信仰に押し出された取り組みとして熱く語った。参加者の中には、発題に触発されて、もともと先生個人の具体的な取




## 牧会3ヶ月間の体験を報告

り組みを知りたいとの要望も分団の中で出た。

また、特別講師として「牧会の課題」と題して講演してくださった佐藤氏からは、カウンセリングとコンサルテーションの違いを区別して、カウンセリングは

た参加者への心理テストを通して、教師委員を含めて、自分が相手の言わんとすることを自分の先入観で歪め



礼拝と交わりの時

オリエンテーションは礼拝に始まり、礼拝に終わる。開会礼拝と閉会礼拝は教師

委員が奉仕し、朝の礼拝は新任教師が奉仕した。共に説教と牧会に苦悩する者として、また、同労者として講演の中で実際に行われ



2 日目の朝、山荘の中庭で

参加者への慰めと励ましを生み出して、明日からの教師として立つ者への応援歌となった。

また、今年度のプログラムの特色の一つとして、全

者のなかから主任担任教師、担任教師、キリスト教教育主事として遣わされた者の代表として三人にそれぞれ三ヶ月間の「牧会報告」をしてもらった。更に、参加者全員の自己紹介の中でこ

れまでの三ヶ月の歩みに困惑しているか、喜びに満たされているかを尋ねたところ、参加者の大半が自分と与えられた務めに全力で取り組んでいることへの充実感があることが語られた。

しかし、今回のオリエン

セッションにはCコースで教師として立てられた十一名の者が加わっている。その中の四名が、任地が与えられていない苦悩の中にあることを祈りに覚えてほし

いとの訴えを深く聞いた。

二日目の分団は、事前に委員会で七つのグループに参加者を割り振り、それぞれ

れのグループに講演発題者が助言者として参加するという形を取った。このことで、テーマ別の分団という従来の形式とは違って、各分団が全体的に講演と発題を深めることができた。

時間がなくなる程、これからの歩みの希望が述べられた。

また、この分団の時間を用いてキリスト教教育主事のオリエンテーションが別分団の形で実施された。

自由時間に温泉に入りたいとの希望者が四〇名近くあり、多かった。おそらく初任地でのストレスから心身共に解放されてそれぞれ帰途に着いたことと思う。

(宮本義弘報)

▲主任担任教師として初めて執行了葬儀式は、五才の男の子のものだった。▼

将来牧師になった時に、葬儀を司るということは、勿論、神学校の時から頭念にあった。それに備える授業もあった。しかし、本当の意味での自覚はなかった。

▼何回かの葬儀で、その都度、牧師として働くことに挫折感を覚える程の体験をした。同時に、全く矛盾する思いを味わった。牧師になった、神さまに用いていただいたという実感を与えられた。▼誰ひとり出席者

のなかった祈禱会の直後に、青年がふらりと礼拝堂に入り込んできた。式を目前にした婚約者の裏切りを知り、死んだ方がましだという告白を聞いた。慰め励ます言葉を持たない自分の無力に、辞めた方がましだとその時は思った。▼白々と夜が明けようとしている時に、ガリ版の週報を刷り直した。どうしても、予告した箇所で説教原稿が書けなかった。▼特別な体験ではない。誰もが体験することだ。打ちのめされて、ただ、主に頼るしかないことを実感する。牧師になるとは、そういうことだと思つた。



## 宣教委員会、沖縄での開催

### 保育所同盟が自主活動団体に

第34総会期第五回宣教委員会が六月十二～十四日、沖縄で開催された。豪雨と落雷の影響で、宜野湾セミナリーハウスには遅れて到着した。

当委員会は、沖縄で開催するにあたり、特に沖縄の歴史を学ぶことをブロクラ

ムに組み入れた。沖縄大学で教鞭をとる又吉盛清（またよしせいきよ）教授（沖縄・東アジア地域研究専攻）の講演を聞いた。又吉氏は、過去の植民地支配と侵略戦争の歴史を今日の課題と結びつけて、具体的な事象を挙げて明らかにする調査

に「私と台湾―植民地問題を考える」ことに焦点をあてて、一八七四年の台湾出兵から一八七九年の琉球処分を経て沖縄から台湾、更に朝鮮、中国等の支配に向かう日本植民地主義の歴史に触れつつ、被害者が加害者に変質してゆく構造を語るものであった。あと十年で戦争体験者はいなくなるといふ言葉に重みを感じさせられた。

講演後は沖縄教区三役と交流の時をもった。知花正勝新議長は「信徒が持っている痛みをしっかりと受け止めて欲しい」と強く要望されたこと、そして「パラバウにならないで、キリストに結ばれている沖縄の教会、また教団の教会がキリストの身体として一つであることを祈りの課題とし、ゆつくりではあるが、時間をかけて課題を担ってゆきたいと述べた。

て、開催地の諸教会を訪ねた。高原教会、与勝教会、読谷教会、与那原教会の順で問安した。牧師と信徒に歓迎され短い交流を持ち祈った。訪問者である委員が沖縄の信徒の祈りに慰め励まされるひと時でもあった。途中、辺野古にも立ち寄った。



名古屋北教会の祭壇前で

認を行った。(1)「開拓伝道援助」のための「教会創立記念日献金」運動の拡充。(2)「このの友」の応援伝道、及び点字「このの友」運動の推進。(3)各教区の現状の課題の共有のための教区伝道委員長会議の実施。(4)キリスト教学校との連携を深め、青年伝道を推進する。(5)「農」に関する活動者協議会の開催。(6)「開拓伝道協議会」に関心を持つ。(7)教誨事業に対する支援。(8)「宣教一五〇年」をいかに迎えるかの検討を開始する。(9)教会訪問・委員会の現地開催の実施。(白砂誠一報)



高原教会の趣きのある会堂前で

講演後は沖縄教区三役と交流の時をもった。知花正勝新議長は「信徒が持っている痛みをしっかりと受け止めて欲しい」と強く要望されたこと、そして「パラバウにならないで、キリストに結ばれている沖縄の教会、また教団の教会がキリストの身体として一つであることを祈りの課題とし、ゆつくりではあるが、時間をかけて課題を担ってゆきたいと述べた。

六月二〇日から二日にかけて、第34総会期第五回伝道委員会が、名古屋北教会、計二〇〇万円の送金。〇五年度伝道委員会関係会計決算承認。このの友、文書応援伝道の報告。〇六年度日本基督教団全国教誨師協議会・教区代表者会報告。

く人」編集委員会。開拓伝道援助金。〇六年度分八教会、計二〇〇万円の送金。〇五年度伝道委員会関係会計決算承認。このの友、文書応援伝道の報告。〇六年度日本基督教団全国教誨師協議会・教区代表者会報告。

去る六月二〇日（火）午前十一時より午後六時まで、教団会議室において第34総会期第五回世界宣教協力委員会が委員全員の出席を得て行われた。

今回の委員会では二人の帰国宣教師をお迎えして昼食を共に頂いた後、その活動報告を伺った。

次に、昨年十一月よりシヤカルタ日本語キリスト教会で働いておられる松本章宏氏と面談し、同氏を教団派遣宣教師として派遣することを決定した。

さらに、現在補教師である教師は正教師試験に合格しても按手札が受けられないという信仰職制委員会の答申があり、教規上の不備が指摘され、改定等の方策を検討した。

最後に、CoCの解散に伴う組織改編について協議がなされた。

六月十九日から二〇日

にわたって、第34総会期教区伝道委員長会議が金城学院と中京教会で開催された。出席者は教区伝道委員十四名、講師一名、伝道委員七名、スタッフ二名、他一名、計三十五名。開会礼拝は、北紀吉教団伝道委員長が行った。

その後、金城学院から中学校・高等学校の校長である深谷昌一先生から挨拶があった。続いて、今回の教区伝道委員長会議の主題である「ミッションスクールの伝道」について、青山学院大学宗教主任である嶋田順好氏に「青年伝道について―大学の現場から―」という題で講演を

見は現代的なスタイルを身に付け、その生活は合理的であるが、宗教心は伝統的であり日本的であると指摘された。教会において、今若者が少ないことを、痛みとして感じなくてはならぬ

区伝道委員長から各教区の報告がされた。各教区の現状と課題が語られ、各教区の担われている課題を覚えることが出来た。

二日目は、金城学院・高等学校の礼拝に出席した後、各教区の報告に基づいて協議が行われ、教区内の協力体制（互助制度を整えることが、多くの出席者から指摘された。また全体協議では、教会とミッションスクールの協力体制を築く必要があることが指摘された。

二日目は、金城学院・高等学校の礼拝に出席した後、各教区の報告に基づいて協議が行われ、教区内の協力体制（互助制度を整えることが、多くの出席者から指摘された。また全体協議では、教会とミッションスクールの協力体制を築く必要があることが指摘された。

二日目は、金城学院・高等学校の礼拝に出席した後、各教区の報告に基づいて協議が行われ、教区内の協力体制（互助制度を整えることが、多くの出席者から指摘された。また全体協議では、教会とミッションスクールの協力体制を築く必要があることが指摘された。

二日目は、金城学院・高等学校の礼拝に出席した後、各教区の報告に基づいて協議が行われ、教区内の協力体制（互助制度を整えることが、多くの出席者から指摘された。また全体協議では、教会とミッションスクールの協力体制を築く必要があることが指摘された。

二日目は、金城学院・高等学校の礼拝に出席した後、各教区の報告に基づいて協議が行われ、教区内の協力体制（互助制度を整えることが、多くの出席者から指摘された。また全体協議では、教会とミッションスクールの協力体制を築く必要があることが指摘された。

## 「ミッションスクールの伝道」について

### 教区伝道委員長会議開催

六月十九日から二〇日にわたって、第34総会期教区伝道委員長会議が金城学院と中京教会で開催された。出席者は教区伝道委員十四名、講師一名、伝道委員七名、スタッフ二名、他一名、計三十五名。開会礼拝は、北紀吉教団伝道委員長が行った。

その後、金城学院から中学校・高等学校の校長である深谷昌一先生から挨拶があった。続いて、今回の教区伝道委員長会議の主題である「ミッションスクールの伝道」について、青山学院大学宗教主任である嶋田順好氏に「青年伝道について―大学の現場から―」という題で講演を

見は現代的なスタイルを身に付け、その生活は合理的であるが、宗教心は伝統的であり日本的であると指摘された。教会において、今若者が少ないことを、痛みとして感じなくてはならぬ

区伝道委員長から各教区の報告がされた。各教区の現状と課題が語られ、各教区の担われている課題を覚えることが出来た。

二日目は、金城学院・高等学校の礼拝に出席した後、各教区の報告に基づいて協議が行われ、教区内の協力体制（互助制度を整えることが、多くの出席者から指摘された。また全体協議では、教会とミッションスクールの協力体制を築く必要があることが指摘された。

二日目は、金城学院・高等学校の礼拝に出席した後、各教区の報告に基づいて協議が行われ、教区内の協力体制（互助制度を整えることが、多くの出席者から指摘された。また全体協議では、教会とミッションスクールの協力体制を築く必要があることが指摘された。

二日目は、金城学院・高等学校の礼拝に出席した後、各教区の報告に基づいて協議が行われ、教区内の協力体制（互助制度を整えることが、多くの出席者から指摘された。また全体協議では、教会とミッションスクールの協力体制を築く必要があることが指摘された。

二日目は、金城学院・高等学校の礼拝に出席した後、各教区の報告に基づいて協議が行われ、教区内の協力体制（互助制度を整えることが、多くの出席者から指摘された。また全体協議では、教会とミッションスクールの協力体制を築く必要があることが指摘された。

二日目は、金城学院・高等学校の礼拝に出席した後、各教区の報告に基づいて協議が行われ、教区内の協力体制（互助制度を整えることが、多くの出席者から指摘された。また全体協議では、教会とミッションスクールの協力体制を築く必要があることが指摘された。



教会とミッションスクールの協力体制を築くべく

## 帰国宣教師活動報告に聞く

### 第五回世界宣教協力委員会

去る六月二〇日（火）午前十一時より午後六時まで、教団会議室において第34総会期第五回世界宣教協力委員会が委員全員の出席を得て行われた。

今回の委員会では二人の帰国宣教師をお迎えして昼食を共に頂いた後、その活動報告を伺った。

次に、昨年十一月よりシヤカルタ日本語キリスト教会で働いておられる松本章宏氏と面談し、同氏を教団派遣宣教師として派遣することを決定した。

さらに、現在補教師である教師は正教師試験に合格しても按手札が受けられないという信仰職制委員会の答申があり、教規上の不備が指摘され、改定等の方策を検討した。

最後に、CoCの解散に伴う組織改編について協議がなされた。

今回の委員会では二人の帰国宣教師をお迎えして昼食を共に頂いた後、その活動報告を伺った。

次に、昨年十一月よりシヤカルタ日本語キリスト教会で働いておられる松本章宏氏と面談し、同氏を教団派遣宣教師として派遣することを決定した。

さらに、現在補教師である教師は正教師試験に合格しても按手札が受けられないという信仰職制委員会の答申があり、教規上の不備が指摘され、改定等の方策を検討した。

最後に、CoCの解散に伴う組織改編について協議がなされた。

最後に、CoCの解散に伴う組織改編について協議がなされた。



伝道所廃止

舌(主)朝上研一良  
伍道所序止

大石教会に赴任。五八年から七五年まで志筑教会牧師、八七年まで担任教師を務め隠退した。五八年から六四年まで広石教会を併せて牧会した。遺族は娘の堂山めぐみさん。

## 就(主)笠田弘樹



# 牧師のパートナー

私が牧師である夫と結婚して気付けば八年余りの月日が流れました。まだまだ生まれたてのひよこのような気もしますし、あまりにも濃密な激しい日々を送って来てもう人生の折り返し地点に立っているかのような錯覚さえ感じます。私はまさか自分が「牧師夫人」と呼ばれる人として生きていくことになるうとは夢にも思っていませんでした。十代の頃、牧師家庭のイメージは、私にとって歌舞伎の世界のように特殊で閉ざされた世界でした。牧師夫人は必然的にまるで相撲部屋の女将の如くハードな涙の陰の働き手と想像していたのです。母教会の牧師夫人が何でも出来てよく気が付き、チャキチャキ仕切り上手な方だったためかも知れません。その後今迄およそ300人の牧師夫妻との出会いに恵まれて百人百色である事を知り、精一杯用いられたらオリジナルでもいいという事に気がきました。私はクリスチャンファミリーで育っていないので想像する他ありませんでしたが相当覚悟してい

るつもりでも現実には想像以上でした。しかし振り返ってみるとあちらこちらで種が蒔かれていたので。私は幼少期を父の赴任によりスイスで育ち、その頃母に連れられて初めて教会を知りました。私達家族を優しい御夫婦が導いて下さいました。そして自発的に通うようになったのは帰国後の小学生の時。熱心に誘ってくれた韓国人のお友達がきっかけでした。大人になつて再会した恩人の一組は有名なカルヴァン学者のお爺さん夫妻、もう一人は立派な信仰者でした。時を経て私が牧師になる人と結婚した事を心から喜んでくれます。

## 神は偉大、小さい私

井上 春菜  
(河内長野教会員)

神の摂理とは本当に不思議です。それから両親、私、そして妹と全員が受洗に至りました。そして最後には祖父母や従姉、叔母までも数年の間に神様の救いに導かれました。私にとっては奇跡の恵みです。女ペテロとあだ名が付く程私はごく自然に友達を教会に誘っていました。神様の存在を知ってしまったからそうせずにはいられなかったのです。実は放蕩息子だった夫もその中の一人です。

母教会は東京の山手線の真ん中、一等地にある牛込弘方町教会です。結婚してヘボン先生が宣教された長老教会で最も古く繁華街にある横浜指路教会で過ごし、今は大阪の最南、自然が豊かな地域にある河内長野教会に任えています。幼稚園や中学高校の学園を生み出した大きな希望を抱いた教会です。それぞれの教会がとても個性や特徴がはっきりと違つたので大変良い経験になりました。その間に夫の留学でフランス、アルザス地方のストラスブールという世界遺産の街で暮らしました。少数派のプロテスタントの中でもとても貴重で夢の様な時代でした。今夏からは米国ミシガン州へ行くことになり、思いもよらない展開に思わず目眩がしています。

改めて日記を見返すと一日も来客や電話のない日がなく毎日驚きと発見と感動の連続でした。葛藤や矛盾や不安を沢山抱えつつ予測不能な事が起る日々を試行錯誤を繰り返しながらもなんとか乗り越えられたのは神様の力です。昨今信仰の継承の困難が叫ばれ、信徒も然りですが牧師も志す方が少ないそうです。私より年下の牧師夫人を一人しか知りません。全世界の牧師夫人を心から尊敬致します。神様の究極の愛を全ての人が受け入れ、主に喜ばれる世界が来ますように！と心から祈ります。



河内長野教会の前で

## 第3回部落解放全国活動者会議に参加して



天理教施設を会場に全国から約 100 人

第3回部落解放全国活動者会議は、奈良県天理市にある天理教施設を会場として六月十九・二〇日に開催されました。全国から約一〇〇人が集まり、部落解放を願って熱く語り合いました。今回は天理教大阪教区啓発委員会の好意により、会場や宿泊など様々なお世話をしてくださいました。ご奉仕に心から感謝いたします。

希望を感じました。部落問題はまだまだ現実社会に根強く残っています。宗教を越え、国を越えてたくさんの人にこの部落問題を知ってもらい活動していくことは大切であり、これこそが部落完全解放への近道であるということを感じられました。

そのほかとしては「反差別連帯のあり方を考える」と題し、『第10回全国会議』の開催が凍結になった経緯などの報告がなされ、これからの展望について話合われました。私は全国会議の開催が凍結になったことなど知りませんでした。会議に出席していた人たちはこの件について知っていたのだらうと察しますが、全国にある教会の教職・信徒がこの件についてどれだけ知っているでしょうか。少なくとも私の周りにいる人達(教職・信徒)は知りませんでした。問題意識が低いのも原因ですが、誰にでも分かるように説明をし、理解を深め、問題を共有していくのが大切です。理由はどうであれ部落解放への架け橋である全国会議の開催が実現しなかったことはとても悲しいことであったと感じています。これからの会議のあり方を心から期待しています。

(平井里奈報・岡山教会)

## ひととき

長谷川孝子さん

## 家庭集会にて救われて



1941 年、函館生まれ。泉高森教会員。

三番目の子を授かったとき、長谷川さんがそれまで絶対と思っていた価値観は全く機能しなくなりました。

長女、次女と授かり男の子。男の子だったと心に決めていた聡(そう)と名付けた。名付けた後、ダウン症であると診断が下った。一生治らない。小児科医である夫の言葉は孝子さんを納得させるに十分だった。

子供によい教育の機会を与え、能力を身に付けば万全だと思ってきた。能力主義、孝子さんは「進化主義」と言う。自分も何の疑問もなくこの価値観で育ってきたし、子供たちもそう育ててきた。しかし、この子には通用しない。教育する意味、育てる意味が分からなくなっ

た。初めて経験した落差、ギャップがあまりに大きかった。この子がこの家に来た訳をどうしても知りたいと思った。そんな折、長女の同級生のお母さんから教会の家庭集会に誘われた。孝子さんには聖書への信頼があった。招きに応じた。信者ではなかった両親が、孝子さんを遺愛学院中高に学ばせてくれた。卒業後は青山学院に進ませてもらった。信じるまでには至らなかったが聖書に触れたことは大きかった。

「ただ彼の上に神の業の頭れん為なり」(ヨハネ9・3)

教会で文語訳のこの言葉が思い出され、聡君を授かった訳が

考えさせられたのである。教区総会に教団問安使として出席し、程なくしてお手紙をいただき、議員の中には他人を責めるのに、自分達のことを見逃している人もいるのです」と。自らのこととして承ったのである。チャイムを鳴らさなくなつての礼拝が始まる。気のせい、会衆賛美がひととき大きく聞こえてくる。それは主の呼び声に、喜びをもって応えていると示されるのであった。

## 主の招きに応える

日曜日、礼拝が始まる前にチャイムを鳴らす。テープの曲を外に流すこと十分間である。教会への途上にある皆さんが、このチャイムを聞き、礼拝に招かれているという思いが一層強まり、思わず足を速めるという。あるいはチャイムを耳にしてほっとされる方もある。一週間が終わわり、新しい日々が始まったという思いが深まるのである。

もう三〇年もチャイムをもって世の人々に礼拝へのお招きをしていく。今度はこちらから乗り込むか、なんて報復を考えたりもした。改めて教会の世にある存在を

(教団総会書記 鈴木伸治)

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩